

第48回 JORA テクノフォーラム

成功事例に学ぶ！堆肥化を中心としたSDGs時代のバイオマス活用について

株式会社 ミライエ・西松建設株式会社

平素は当協会の活動に格段のご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

わが国のバイオマス活用の取組は、「バイオマス活用推進基本法」「バイオマス活用推進基本計画」「バイオマス事業化戦略」等の施策に基づいて進められ、低炭素社会や資源循環型社会の実現はもちろんのこと、発生から12年が経過した東日本大震災、各地の天災被害からの復旧・復興を起点とした農林漁業の再生や災害時対応を含む地域分散型の資源やエネルギーの供給・調達等の観点からも本格的な普及・実現段階を迎えており、国内のみならず国際的にも大きな期待が持たれています。

JORAでは、平成24年度から始まったFITやパリ協定に基づく気候変動対策、SDGsの目標達成等への対応など、バイオマス活用について新たな観点からの技術開発やシステム構築に加えて、商業化可能な実用モデルの構築が不可欠であると考え、広く関係者による知見の習得や実用技術、課題、事業性に関する情報・意見の交換を目的として「JORAテクノフォーラム」を適時開催しております。

カーボンニュートラル2050に向けた取り組みが加速する中、廃棄物処理におけるCO2排出量の削減が大きな注目を浴びています。特に、昨今の世界情勢等の影響により、肥飼料価格の高騰が続く一次産業においては、肥料成分やその他資材が不足する事態に陥っています。そこで、第48回テクノフォーラムでは、下水汚泥や食品残さ、バイオガス消化残さ、きのこの廃菌床などを原料とした堆肥製造に関する成功事例や、敷料や固形燃料など堆肥以外の利用についての情報を共有するために、関連事業に取り組んでいる株式会社ミライエ様、西松建設株式会社様より、「成功事例に学ぶ！堆肥化を中心としたSDGs時代のバイオマス活用について」のご紹介をさせていただきます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 開催日時 : 2023年11月13日(月) 14:00~16:00 (質疑応答、意見交換を含む)
- 開催会場 : 全国家電会館(東京都文京区湯島3-6-1 1階 大会議室)
Zoomによるオンライン会議も同時開催
- 演題・講師 : 1. 「成功事例に学ぶ！堆肥化を中心としたSDGs時代のバイオマス活用について」
株式会社ミライエ 取締役 堀 敦博
2. 「ミライエと共に進める、食品残渣や汚泥の堆肥化事業について」
西松建設株式会社 地域環境ソリューション事業本部 西岡 康夫
- 参加費 : JORA会員 および関連会員(①②③) : 無料

- ①バイオマス産業都市推進協議会
- ②全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員
- ③日本バイオマス製品推進協議会会員

一般(上記以外) : 2,000円

第48回 JORAテクノフォーラム 参加申込用紙

区分	JORA会員	協賛会員 ①バイオマス産業都市推進協議会 ②全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会 ③日本バイオマス製品推進協議会	一般 (左記以外)
法人・団体名称			
連絡先	住所		
	電話番号	参加方法 どちらかに○を お願いします。	会場 ・ オンライン
	E-mail		
ふりがな 出席者お名前		ご所属(部署)	役職

- ※「区分」欄は、JORA 会員、一般の方は該当箇所に「○」、関係会員の方は該当番号①～③のご記入をお願いします。
 ※ 出席者に関する連絡先が異なる場合、お名前欄が不足する場合は、別紙にてお申込み願います。
 ※ ご記入頂いた個人情報、本テクノフォーラムの受付事務他、当会の活動にのみ使用させていただきます。
 ※定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。
 ※お申込み後、ご都合により参加をお取り消しされる場合は、事務局までご一報願います。
 ※非会員の方は、お申込み受付後、上記の住所へ参加費のご請求書をお送りいたしますので、お振込みをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本有機資源協会 (担当：土肥・新保)
 住 所：〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 401
 電 話：03-3297-5618 E-mail: salon@jora.jp

◆アンケートにご協力願います◆

今後希望するテーマや変換技術等がありますか？	
本テクノフォーラムで貴方(貴社・団体・等)の技術や取組についてご講演しませんか？	
その際のテーマは何ですか？	

ご協力ありがとうございました。